

# 弓道ながの

第93号

発行：長野県弓道連盟  
会長 松島貞治  
〒399-1801  
下伊那郡泰阜村4139  
TEL0260(26)2628  
編集：県弓連広報部  
印刷：(株)成進社印

## 巻頭言

### 中・高校生と弓道

長野県弓道連盟会長 松島 貞治



新年度の役員  
改選で、会長  
を引き受けま  
した。病気療養  
中の身ですがよ  
ろしく願いま  
す。弓道界の  
課題として、少子化の中で中・高校生  
の弓道を盛んにして、それを社会人に  
なっても繋げていく、とよく言われま  
す。飯田女子の道場で練習をさせても  
らった経験から仕事をやめたら高校生  
の指導をしたいと思ってきました。現  
職中に、泰阜村では、武道必修化を迎  
え、中学生に弓道を、という校長がい  
て、武道では弓道を選択。仕事の傍ら  
できたのですが、当時の経験が大変参  
考になりました。高校で弓道部に入る

生徒もいるのですが、ちょうどやめる  
年に野球の継続を勧めたのに、弓道を  
やるという男子がいて、それにつられ  
てOIDE長姫高校の外部コーチとし  
て認めてもらいました。もちろん、ボ  
ランティアです。そこで四年くらい、  
顧問の先生が昇段したので、風越高校  
に行き出しました。途中、脳梗塞で倒  
れましたが、今でも週二回ぐらい顔を  
出しています。国体選手も生まれま  
したが上達の遅い生徒が弓を嫌いにな  
らないように気を遣っているつもりで  
す。国体最終選考で漏れた生徒が、故  
郷へ帰ってきて社会人で頑張りますの  
でその時はお願いします、というので  
生きていければな、と言っています嬉  
しい話です。

飯女の道場で練習させてもらったの



が昭和五十年代です。当時と比較して、  
何が一番違うのか、それは練習時間で  
す。公立の場合、県の指導で、土日の  
どちらかを休み、それとは別に週一回  
休むことが原則です。矢数でいえば半  
分か三分の一です。個人の都合で休み  
もありです。それと顧問の先生が忙し  
くなり、練習にあまり参加できません。  
昔は、顧問になったのを契機に弓を始  
めた先生がいたのに、最近はありません。  
きません。練習時間が少ないことと中  
りが落ちていることは相関関係があり  
ますが、充実した高校生活といった面  
からはどちらがいいか分かりません。  
しかし、公立高校主体の県では、弓  
道だけでなく運動部が全国で戦うこと

は難しくなり私学主体にならざるを得  
ないと思います。もう少し時間があれ  
ば上手になるのに、と思う生徒を見る  
と歯がゆくなります。一方、県教委の  
方針どおり、部活の時間を減らし楽し  
い高校生活を送ればそれでいいかもし  
れないとも考えます。自分が稽古する  
道場を中心に、高校生の指導をしてい  
る方はたくさんいると思いますが外部  
コーチは難しいものです。外部コーチ  
を増やし、卒業しても継続できるよう  
にと思っていますが、どういう方法が  
いいのか頭を悩ましています。飯伊弓  
友会で「青壮年大会」と銘打ち高校3  
年生も出られる大会をやっています  
参考事例です。解決できない仕事ばっ  
かりやってきましたが弓道も同じです。

(写真は飯伊支部の青壮年大会)





良き師、良き仲間  
に感謝!!  
中高支部 教士六段 郷道 隆志



令和六年十二月二十二日東京特別臨時中央審査において教士の称号を拝受いたしました。

高校入学後、

何か手ごころな部活動はないかなと探していたところ、運動音痴な人間でもできそうな気がし、弓道部に入学しました。入部時は弓道場が学校の構内にあったのですがプールを作るため取り壊されてしまい、飯山城址公園にある弓道場で練習することになってしまいました。その道場は飯山弓道会の方々の練習されている道場であり、私が弓道を再開した後に師と仰ぐ古澤範士と平野先生との初めての出会いの場所でした。高校卒業後、三十年間弓道とは縁のない生活をしておりましたが、ある日、ある時、某所で古澤範士と出会った。「郷道くん、弓道またやらねか?」と言われ中野弓道会の初心者教室に参加しましたが、この時は三日坊主で辞めてしまいました。

その後しばらくして一番下の子が中学に入学し部活を始めたため土日に遊んでくれなくなってしまう、その空いた時間をどうやって過ごそうかと思ったときに……。

「そうだ! 暇になった時間をつぶすために弓道でもやるかな。何時でも、一人でもできるし!」

ちよつと不純な動機で弓道を再開しました。

その後、中野弓道会に加入させていただき、古澤範士・平野先生をはじめ中高支部の方々、県連の諸先輩方にご指導いただき現在に至っております。

又、古澤範士に定期的に指導していただいていた冬の研修のある時に「お前たち俺の話も大分聞き飽きたから違う先生でも呼ぶか? 本多くんなんかどう



だ?」との一言から本多範士にも十数年にわたり御指導いただきました。数年前から仲間と定期的に射礼研修を行っており、体配から射技に至るまで超々超々細かにチェックしていただいております(決して厳しいわけではございません)その事が今回の結果に繋がったものと確信しております。

良き師匠、良き仲間  
に恵まれて  
いることを  
つくづく  
幸せに  
思います。

感謝・感謝  
しかあり  
ません!!

前会長の  
外菌先生、  
ご心配  
いただき  
ありがとうございます。

全ての  
弓仲間の  
皆さん、  
これから  
もよろしく  
お願いします  
(呑み会  
も??)

# 弓道合宿予約随時受付中!

## 野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

## 帝産ロッチ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

# 退任役員挨拶



前副会長 北信担当  
**奥山 誠治**

平成九年頃、善光寺弓道場での事、県弓連副会長をされていた齋藤節朗先生から長野支部長の宮崎今朝一先生の手伝いをやってくれないうかと言われたのが県弓連との始まりです。当時の長野支部の会員数は200名を超す大所帯で評議員は三名です。審査部員から支部長を四年、理事その後平成二十二年、土川俊市会長の下、競技部長を二期四年務めました。理事を経て副会長の平野英孝先生の後を受けて四期八年務めました。

令和になりコロナ禍で講習会、審査会が中止、代わりにビデオ審査会となり今までに経験した事のない事態となり運営などに役員の皆様はさぞかしご苦労いただいたことと思います。全体像がはっきりしない場面もあり審査員としても判定には苦労をしたことを覚えております。その様なことから中央審

査会でも影響があり学科問題はレポーター提出になり、実技は各々時間指定の審査となり地方でもこれに準じて行われることとなりました。

受審者の方も学科問題が当日会場ではなく、苦労なく自宅で教本参考に書くことができ、合格点を下回る人は先ずいませぬ。一面自分の考えでなく教本の丸写しのところが残念です。指導者の教えられた内容の一行でも加えて欲しいものです。学科問題は事前に公表されていますので勉強をしてほしいものです。

年間を通して県弓連の行事がありますが以前に比べ全日本選手権の参加者減少が目立ちます。自身の技量を試す上でもぜひとも参加を、特に女性の参加をお願いします。

審査に一生懸命になるのも分かりませんが長野県最高権威のある全日本選手権予選会で力を試してください。

森川香山(大和流の祖)

中りは離にあり離は持満にあり  
持満は心にあり心は寂然として「不動所にあり」と蓋し諸法整はざれば

心寂然たる能はず  
心寂然不動ならざれば諸法全からず  
深く味はふべし

弓術の三要素 技術・理論・精神

技術を錬磨すると共にその理論を孝究し同時に精神の修養を怠るべからず

今後の長野県弓道連盟のご発展をお祈りいたします。



前副会長 中信担当  
**山田 雅亮**

## 退任のご挨拶

コロナ禍の真つただ中に副会長に着任いたしましたから四年が過ぎました。この度、一身上の都合により退任させていたたくこととなりました。私自身の力不足のため、皆様方には大変なご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げますとともに、お力添えを頂いた方々に感謝申し上げます。

過日、退任間際になりました、病を得て入院する羽目になってしまいました。入院当初は、何とも情けない思いにふさぎ込んでいましたが、六階の病室から外界を見ながら日常生活から離れて過ごしているうちに、今まで右往左往していた眼下の世界が、薄く広がったような気分になり、妙なゆとりさえ感じました。頑張って入院を乗り切って、そんな気分で再び普段の生活に戻りたいとも思いました。

昨年のことになりますが、若い時分に同じ寮で暮らし同僚であったOさんが、遠征中のパキスタンのカラコルム山脈で遭難し亡くなりました。彼は、県山岳協会の副会長で、高校山岳部の指導なども積極的にしていました。山に魅せられ、山と人間を愛した人でした。当遠征では、登頂を果たし下山中の事故だったそうです。山のどこに魅力を感じ身を捧げたのか、それは分かりませんが、現実に捉われない広い視野を持っていた人であったような気がしています。

どこを見るでもなく、しかし、余裕をもって本質は見逃さない。古希を迎えるにあたって、そんな生き方を忘れずに過ごしていきたいと望んでいるこの頃です。

# 令和七年度 動き始める!!

令和七年三月二日（日）松本市燦祥館に於いて令和七年度評議員会が行われました。

役員改選年度に当たり、会長は続投。それぞれの役員の選出、及び、行事計画も承認され、各事業部の事業も動き出しました。  
役員は、下の通りです。



## 役員名簿（令和七年度）

名誉会長	外 蘭 公毅
会 長	松 島 貞治
副会長	宮 坂 博之
理事長	内 藤 信一
常任理事	中山 光康
	小 越 剛
	押 金 孝
	永 藤 聡
	新 津 一夫
	亀 岡 英司
	牧 野 ふみ江
	内 山 喜照
	中 田 美千
	高 砂 健司
	加 藤 修平
	細 田 尚
	郷 道 隆志
	荒 川 保
	篠 澤 英次
	上 條 寛
	萩 原 秀紀
	木 下 克彦
	飯 塚 邦洋
	辰 野 正雄
	大 和 邦浩
監 事	県弓連会長
顧問	県スポ協評議員
事務局長	中山 光康
	奥 山 誠治
	山 浦 博
	杉 田 博



# 令和七年度スタート！各事業部より



総務部長  
中山 光康

日頃より、県弓道連盟の行事へのご協力ありがとうございます。昨年度も皆様のご協力のおかげで、予定していた行事を行うことができました。本年もよろしく願います。

本年、例年と違うことは、五月の北信越地区指導者講習会と七月の北信越弓道錬成大会が長野県の当番であることです。特に、錬成大会は、前回がコロナウイルス感染症の関係で、中止となり十年ぶりに長野県開催になります。

さて、長野県開催の国民スポーツ大会が近づいてきました。現在は、令和十年に長野県開催が内定している状況ですが、七月に正式に開催が決定される予定です。長野県においては、国スポ・全障スポ準備室が準備作業にあたり、弓道競技開催地である飯田市においても、令和七年度から専任の職員を配置し、準備作業にあたっていくことになりま。国民スポーツ大会弓道競技会は、開催主体が飯田市で、県弓道

連盟は競技運営を行うことです。が、競技団体としての要望を出すとともに、協力しながら大会を成功させるようにしていきたいと考えています。本年度末には、大枠がだいぶ決まってくるものと考えています。令和九年に国スポのプレ大会として全日本勤労者弓道選手権大会が飯田市開催となります。この大会に向けての準備作業もしていきます。また、本年の国民スポーツ大会は、滋賀県開催と近くです。飯田市の近隣、競技部中心に大会視察をできればと考えています。

さて、県弓道連盟会員名簿を配付してきましたが、評議員会での議論を経て令和七年度より配布しないこととなりました。会員ID、審査の認許年月日などはそれぞれ控えておいてください。尚、会員IDと現在の称号段位の認許年月日は各支部長の所で確認ができます。

最後に、様々な所でハラスメントの問題、SNSへの不適切な投稿のことなどの問題が伝えられています。お互い注意して行動し、気持ちよく弓道に取り組めるように心がけをお願いします。



指導部長  
新津 一夫

令和六年度は、会長・副会長・役員・各支部長の皆様方にお世話になりながら、指導部の活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

「地方委員資格更新・弓道コーチ1取得免除申請」は報告済(理事長より)指導部事業は計画通りに終了いたしました。

上級者講習会131名、中級者講習会121名、五段・錬士講習会37名、教士研修会57名、武道指導者研修会40名、教職員講習会17名、合計403名、副会長主催四段以下講習会253名、合計656名の参加があり大変ありがとうございました。武道指導者研修会は中央の講師をお招きし、教士研修会は群馬県より鈴木範士・杉田範士にお願いし実施いたしました。

中央の講師・各範士にご指導いただき普段とは違う講習会で参加者は良い刺激と勉強になったと思います。

令和七年度も昨年に引き続き講習を計画いたしますので沢山の参加と、自己研鑽に役立てていただきたいと思えます。地方委員資格更新は二〇二五年度末の更新が済みしましたので二〇二八年度末までの三年間のうちに講習を受

講していただき引き続き資格更新をよろしく願っています。それと新規取得もお願いいたします。今年も各自の目標又は自己研鑽に役立ていただき、昇段・昇格に繋げていただきたいと思えます。又各地区の指導部員にご協力をいただきますようお願いいたします。令和七年度もよろしく願っています。



競技部長  
内山 喜照

### 令和十年 長野国スポに向けて

平成三十一年に前任の中野先生から競技部長を引きつぎ、早くも六年が経ちました。この原稿も六回目の執筆となります。異例の長期任用となっておりますが、令和十年の長野国スポに向けての体制固めのためですので、どうかご容赦いただきたいです。昨年度はコロナウイルス対応が完全に終了し、久しぶりに計画した全日程を全うすることができました。これも会員のみなさまのご協力があったことです。この場を借りてお礼申し上げます。

この先は来年令和八年に北信越国ス

ポ、令和九年に全日本勤労者選手権、令和十年に長野主催国スポと、大きな行事が続いてやってきました。いずれも飯田運動公園弓道場で行うことが内定しています。この一大イベントに向けて肅々と準備を行っていく所存です。

北信越国スポは、北信越五県の成年男女、少年男女の四チームが全国国スポへの出場権を競います。競技は二日間にわたり、色的得点制の遠的、的中成績によって出場チームが決まります。近年は北信越地区のレベルが上がっており、毎年夏の暑い時期に、さらに熱い戦いが繰り広げられます。

勤労者選手権は、全国の都道府県代表の2チームと前年度優勝チームが、近似的の中制により覇権を争います。全ての都道府県が参加すれば95チームになります。代表を派遣しないところもあるのですが、およそ80〜90チームになります。競技は二日間にわたって行われ、一日目が第一次予選、二日目が第二次予選と決勝トーナメントです。

国スポは各ブロック国スポを勝ち抜いた都道府県代表によって争います。成年の出場チームは男女それぞれ24チーム、少年は19チームです。競技は四日間にわたって行われ、一日目が成年遠的予選と少年遠的予選、二日目が成年近的予選と少年近的予選決勝、三日

目が成年遠的決勝と少年近的決勝、四日目が成年近的決勝です。おそらくこの大日程は長野国スポの時まで変わらないと思われれます。

国スポでは遠的競技と近的競技を同時進行で行うため、両競技に独立して競技運営役員が必要です。期間中は全部でおそらく100名以上の動員が必要と予測しております。主要な役員を養成するため、本年度より競技部員を大幅に増員させていただきました。彦根国スポにも視察に行く予定です。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。



審査部長  
牧野 ふみ江

### 審査部長に就任して

新年度より審査部長を務めさせていただきます南佐久支部の牧野です。審査部長として前審査部長篠澤先生の下携わってまいりました。毎回目の前の審査会に集中し、卒の無いよう気を配り審査会を進め、結果報告が無事に提出できていても、その過程では失敗もあり反省の日々でした。そして関係される皆様に沢山助けいただきなが

ら経験を積み重ね現在に至っております。これからの審査会も初心にかえり緊張しながらも新たな心構えで邁進いたします。審査を受審される皆様が不安無く臨めるよう、この日を目標に日頃修練に励んだ成果を発揮できる審査会になるよう努めます。審査会は沢山の皆様のご協力のもと運営されています。関係される皆様引き続きよろしくお願いたします。

今年の審査会は計14回を予定しております。また受審人数によつては半日の審査会となる場合もあります。令和六年度長野県審査受審者数(無指定)五段)を一昨年と比較しますと減少傾向になりました。登録人口においては高校生の登録者数が多いため、高校生受審の有無によつて大きく影響します。学校の行事が重なる事で受審ができない又は大学生の受審者が他県に流れてしまう事も影響しております。県内会場をご確認の上その時々状況で無理のない審査日を目標に、受審していただくと思います。

積み重ねた修練の成果を発揮できまよう審査部員一同協力させていただきます。そして多くの会員の皆様が合格されますことを祈念いたします。

不慣れではありますが、これから一杯務めさせていただきます。よろしくお願いたします。



強化部長  
亀岡 英司

今年度から強化部長を引き受けることになりました。過去の強化部長はどなただったか振り返りますと……怖くなるのでやめることにしました。私りの考え方、そして経験豊富な強化部員とともに臨んでいきたいと思えます。

とてもありがたいことに、(振り返ると怖くなる)歴代の強化部長の先生方が、後進がやりやすい環境を整えてきてくださいました。全国大会などで他県の状況を聞くとますますそう感じます。その一つが、高校生の強化です。成年と少年を選考から合宿まで一貫して強化部が一任されているのは、全国見渡してみても長野県だけです。成年はどうかというと、本国体(スポ)開催県ではよくあることなのですが、競技で実績のある大学生などを県が中心になつて就職あっせんを行い、いわゆる「傭兵」(強化部で勝手にそう呼んでいいます)を集める動きがあります。近い県では二〇一八福井国体でも行われていました。私たち長野県の強化部では、そういうことは全く考えもしません。強化部長が私でなくても同じ判断になることでしょう。そうしなくても大丈夫

な環境がすでにあるからです。

今は当たり前のように受け取っている事実ですが、ここに至る過程は簡単ではなかったと想像できます。各地域の弓道会や先生方、高校の先生方がいい選手を育成し、強化部を信頼して「国スポへ行け」と背中を押していただけるからこそ、強化部は結果を出すことができます。強化部はその大事な選手をお預かりする立場です。本当にありがとうございます。

長野国スポも控えておりますが、できることを一年一年精いっぱいやっていきます。選手たちを最高の状態で射位に送り出すことだけを胸に。ご支援どうぞよろしくお願いたします。



ジュニア部長  
高砂 健司

## クラブ活動雑感

ジュニア部が携わるのは中学生と高校生です。中体連に弓道専門部がありませんので、ジュニア部長は高等学校体育連盟(高体連)の弓道専門委員長が仰せつかることになっています。このような訳で、ジュニア部は中学生大会の他は、事業のほとんどが高校生に関

係することになります。ですから私は北信越各県の専門委員長と話す機会が結構あります。そこでこの一、二年よく話題にあがるのが(高校の)部活動が変わってきたという事です。私も長年弓道部の顧問を務めています。確かにそのような感じがします。「部活をすぐ休む」(メンバーが揃わなくて)立ちの練習ができない」という声も耳にします。問題なく部活動が行われている高校も多いと思いますが、全体的に確かに以前の部活とは違ってきている気がします。

部活動も時代や社会に応じて変化するのは当たり前です。高校では実施していませんが、中学校では部活動の地域移行が進んでいます。県内中学校では弓道部はほとんどありませんが、地域の(他競技の)クラブチームで活動してきた生徒が多くなると高校の部活動も変わってゆくかもしれません。

話が少々ずれてしまいましたが、高校の部活の活性化にはやはり顧問の先生によるところが大きいかと思います。とは言え、弓道部の顧問でも弓道について理解がある人ばかりではありません。指導できる顧問がいらない学校もあります。ではどうすれば良いか?顧問同士の繋がりを密にすることで、県大会常連校同士で練習試合をするのもよいですが、そこにもう一校いつも

と違う高校を誘ってください。特に各地区の専門委員の先生方は高校弓道の拡大を考えて他の顧問に声を掛けていただきたい。横の繋がりを生徒に還元できたら良いと思います。



広報部長  
中田 美千

### 新年度に向けて

役員改選に伴い、役員交代等もございましたが、留任することとなりました。これまで同様、精一杯務めさせていただきます。改めて、どうぞよろしくお願いたします。

広報紙「弓道なごの」は年四回、十ページ、500部、発行してまいります。

紙媒体の在り方、発行部数等、現状を考えて、見直し等してまいりましたが、これまで通りのご要望が多くございましたので、会員の皆様のお手元に届くよう敢えて変更はしないということにいたしました。ご意見等くださいました皆様、ありがとうございます。

広報紙は、その時代の記録をし保存する、という使命を持つということを念頭に置き、これからも親しみやすく読みやすい紙面作りを心掛けてまいります。

ます。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

昨年、配送が大幅に遅れるという事案がありました。宅配業者のメール便の廃止、郵送が翌日配送でなくなったといくつかの要素に起因したものでした。今後は、業者とも期日等しっかり確認しつつ、あまり遅れる事の無いように注意していきたいと思えます。ご理解のほどよろしくお願いたします。

ホームページには、できるだけ多くの情報が掲載できるようにしていきたいと思えます。

二人体制になり、このところ、大変迅速に掲載できるようになりました。ですがやはり、担当者の本業の関係等、お待たせしてしまうこともございます。申し訳ありませんが、引き続き「なるべく早く…」でご了承いただきましたと思えます。

いただく情報は、部長含め三人で共有いたします。ニアミスの防止など心掛けてまいります。

毎回書かせていただきますが、広報事業は、皆様のご協力無くしては成り立ちません。身近に起こることなど、投稿も大歓迎です！ どうぞ、いろいろな情報をお待ちいたしておりますので、皆様のご協力のほど、よろしくお願いたします。

## 弓仲間紹介

飯島弓友会 小林 由紀

飯島町弓友会は、長野県の南信に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスを望む「ふたつのアルプスが見えるまち」がキャッチフレーズの飯島町弓道場で活動しています。

登録会員の中で町在住者が少ないのが悩みのタネですが、ここ何年かは中学生が途切れることなく在籍していて、10代〜90代の幅広い年齢層で賑わっています。



指導陣は今井勉教士七段を筆頭に、主に初心者教室の指導を山口安彦 錬士六段、有賀渡弓友会会長など、合計5名の錚々たるメンバーが揃い、優しく厳しく時に熱い指導が飛び交っています。

私自身、弓道は高校の同級生で何人かいたなあ〜位の認識で、50歳を目前に「やってみよう！」と思うことになるとは考えもみませんでした。こちらの投稿で時々お見かけす

る「子供がやっていたから〜」というフレーズ、まさにソレです。息子が中学生になって部活を考え始める頃、「友達と弓道やる！」と通い始めたのが縁で、好奇心ムクムク。母も習っ：言い終わらないうちに拒否。即答撃沈ノックアウト。まあ、思春期男子はこんなものだ。でも諦めない母さん。数年

後、末娘がお世話になり始めたのでリトライ。あっさりOK。子供に許可をもらった令和三年、新型コロナウイルス感染症で混乱が続く時期に入門させていただくこととなりました。が、

頭と身体両方の衰えを思い知らされ：言われた事は理解できても、その通りには動いてくれない身体：上達する日は来るの

だろうか…。 そんな事を考えつつも通い続け、令和五年に式段、昨年は参段と順調に昇段できましたのは、前述の諸先生方から手厚いご指導をいただいたおかげと感謝しかありません。 これからも、仕事に家庭に弓道にバランスを取りながら続けていきたいと思っています。

# 大会結果

## 第43回全国高等学校弓道選抜大会

○令和6年12月25日(水)～27日(金)

四日市市総合体育館アリーナ

### ■個人の部

#### ▲男子

5位 入谷 星穂(伊那北)

#### ▲女子

3位 瀧浪 翼(飯田女子)

令和7年第79回国民スポーツ大会  
わたしHIGA輝く国スポ2025  
弓道競技長野県少年男女一次選考会

○令和7年1月25日(土)、26日(日)、

2月1日(土)、2日(日)

長野運動公園弓道場、上田城跡公園弓道場、

駒ヶ根市弓道場、松本市弓道場

参加人数・男子217名、女子232名

▲北信地区 男子通過選手14名

夷 遼真(長野日大)

松永 侑樹(長野日大)

相原 柚希(長野日大)

野池 翼(長野日大)

石坂 斗磨(長野日大)

夷 吏玖(長野日大)

舎川 立空(長野日大)

丸山 志文(長野日大)

岡村 厚志(長野)

清水 颯太(長野)

竹内 悠太(市立長野)

金井 琉偉(長野東)

池田 凜来(篠ノ井)

寺島 弘晃(長野商業)

▲北信地区 女子通過選手16名

山本 莉子(長野商業)

黒岩美利亜(長野商業)

西澤 璃子(長野)

小林 泉月(長野西)

南山 里菜(長野西)

棚橋 柚月(長野西)

市川 桜叶(長野吉田)

神田 和奏(長野日大)

小林 沙羅(長野日大)

齊藤 真緒(長野日大)

清水 沙樹(長野日大)

塚田郁央里(長野日大)

出川 葉(長野日大)

山川 真央(篠ノ井)

堀内 咲良(長野俊英)

内山 響(長野東)

▲東信地区 男子通過選手10名

志田 透和(上田染谷丘)

武田 晴(上田染谷丘)

高井 優太(岩村田)

大村 惣吾(岩村田)

矢作 直斗(上田東)

古田 琉斗(上田千曲)

山谷 理央(上田千曲)

村山 暖真(屋代)

鷺尾 陸(屋代)

小山 陽樹(屋代)

## 私と弓道

上小支部 黒澤 悠樹

私が弓道に出会ったのは高校の弓道班です。見学に行こうと思っていたバスケットが活動する二階にある第二体育館の一階部分が弓道場となっていて、的を射抜く乾いた音や袴姿にやってみたくて思ったのがきっかけです。100名以上の部員がいる中では班活の時間ではあまり練習ができなかったの



で、班活後に遅くまで自主練習をしたり、時には自習時間にくっそり練習したりしたのはいい思い出です。大学には弓道部がなかったため、いつかまた再開したいとの思いはあるまま二十年余りが過ぎていきました。競技復帰して間もなく、高校の頃大変お世話になった先輩が立ち上げた弓道スポーツ少年団の講師のお誘いを頂き、長男に続いて次女もスポーツ少年団に入団することになり、あつという間に弓道漬けの日々に。

一緒に練習してくれる仲間達やご指導くださる先生方、先輩方、なにより家族の理解や支えのおかげで好きな弓道を続けられています。感覚的に弓を引いている自分にとって、言語化して生徒たちに伝えるのは難しく、常に模索しながらの指導ですが、きっかけ一つでどんどん上達していく子供たちを見てみると、とても嬉しくやりがいを感じます。上田市では、中学校の部活動が二年後を目処に地域クラブ活動に移行するよう

で、今後受け皿としてのスポーツ少年団が担う部分も多くなってくる事と思います。スポーツ少年団の活動を通じて、弓道の楽しさをたくさんの子供たちに伝えられるよう、子供たちと一緒に成長していきたいと思っています。そしていつか家族で大会に出れたいいな(その前に父と出たいと思ってもらえるように)これからも修練を続けていきたいと思っています。



▲東信地区 女子通過選手6名

- 吉池 歩美(丸子修学館)
- 村上 二胡(上田染谷丘)
- 小林乃愛瑠(上田染谷丘)
- 戸堀 文乃(上田染谷丘)
- 油井紫乙莉(佐久長聖)
- 高塚 真羽(野沢南)

▲南信地区 男子通過選手12名

- 矢島 雄大(諏訪二葉)
- 矢島 想大(諏訪二葉)
- 吉村 吟(諏訪二葉)
- 齊藤 維吹(諏訪二葉)
- 大倉 比綺(諏訪二葉)
- 木村 絆利(伊那弥生ヶ丘)
- 今井 慧達(伊那弥生ヶ丘)
- 林 拓翔(飯田風越)
- 井坪 駿介(飯田OIDE長姫)
- 木下 寛太(箕輪進修)
- 松岡 梢(阿智)
- 矢ヶ崎耀平(岡谷工業)

▲赤羽音慧月(高遠)

女子通過選手14名

- 藤田 結菜(伊那弥生ヶ丘)
- 飯島陽日來(伊那弥生ヶ丘)
- 北澤 心美(伊那弥生ヶ丘)
- 松島 優(伊那弥生ヶ丘)
- 伯耆原菊音(赤穂)
- 青木 心菜(赤穂)
- 栗山 詩子(赤穂)
- 唐澤 優菜(赤穂)
- 鈴木 美悠(赤穂)
- 小林 聖(松川)
- 熊谷かなで(飯田女子)

原 梨子(飯田女子)

熊崎 茜音(諏訪二葉)

▲中信地区 男子通過選手7名

- 堀内 悠史(松本蟻ヶ崎)
- 山崎 琉生(松本蟻ヶ崎)
- 入山 魁斗(松本蟻ヶ崎)
- 柳原 大輝(松本蟻ヶ崎)
- 高山 翔威(池田工業)
- 三嶋 健渡(塩尻志学館)
- 渡辺 浩太(塩尻志学館)
- ▲中信地区 女子通過選手8名
- 蒲生 雛子(松本蟻ヶ崎)
- 山本 悠華(松商学園)
- 片桐 思凜(松商学園)
- 久保咲永美(木曾青峰)
- 太田 梅菜(南安曇農業)
- 峯村 侑花(塩尻志学館)
- 降旗 心愛(塩尻志学館)
- 今井 一花(塩尻志学館)

第33回 中野冬季百射会 (50射会)

○令和7年1月26日(日) 中野市弓道場

参加人数・53名

■一般個人の部(50射)

- 1位 岩村 拓生(飯伊) 50中
- 2位 中島 冬萌(長野) 42中
- 3位 岩原 祐貴(諏訪) 41中
- 4位 塚田 滉巳(上小) 40中
- 5位 村越 良美(長野) 39中
- 多中賞(28中以上)
- 藤澤 英輝
- 金子 夏暉



- 生田 憲克
- 郷道 隆志
- 小山講太郎
- 平林奈都子
- 中島 章子
- 藤沢 敏恵
- 横澤 志織



第6回 青壮年弓道大会

○令和7年2月11日(火・祝)

飯田運動公園弓道場

参加人数・高校生107名、一般26名

■団体の部

- 1位 初志貫徹(代田亮輝、岩村綾、岩村拓生)



第57回全日本女子弓道大会(中日本の部)

2位 下伊那農業H(近藤凜空、長谷川朔夜、関島橙哉)

3位 OIDE長姫G(手塚新太、田口唯花、倉本玲央)

86点

92点

○令和7年3月2日(日)

■個人競技

▲四・五段の部

5位 中島 章子(長野)

昇段昇格者

◆「東京」特別臨時中央審査会

▽教士の部

郷道 隆志(錬士六段 中高支部)

◆「名古屋」定期中央審査会

▽六段の部

小林 恒太(錬士五段 安曇支部)

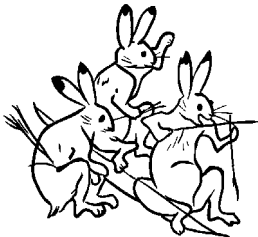
▽教士の部

荒川 保(錬士六段 安曇支部)

◆「東海地区」錬士臨時中央審査会

▽錬士の部

平岩 真吾(五段 佐久支部)



わんわん

数年前から東京の息子が帰省するたびに、近所の「ツルヤ」で買い物をしたり、お土産に○○が喜ばれると言っていました。先日記に○○が喜ばれないでいました。先日名古屋から帰ってきた子がツルヤに寄って帰ると言うので、その何がそんなに良いの？と聞いたら、ツルヤブランド全般が県外では人気だそうです。本人たちも以前はそんなこと言っていないかつし長野県内の人もそこまで気にしていないと思うのだけれど(私だけ)？長年利用してきた近所にあるごく普通のスーパーマーケットで、今更なぜ？という感じですが、よくよく聞いてみたら今流行りのインスタやユーチューブで拡がっているのだそうです。

それが良いとか悪いとかではありませんが、誰かがネットで何かを発信するとそれを見た人が事実かどうか確認もせずまた拡散して情報が拡がっていく社会って何だか怖いと思ってしまう。日常的にSNSの溢れた世の中が普通になってしまったのだから仕方ないですが、せめて自分だけでもわからない情報に振り回されないように気をつけなきゃと思っています。おまけに今はそこに詐欺まで乗っかってくる時代ですから、騙されやすい中高年は怪しい話は最初から聞かない方が安全かも。

話が逸れてしまいましたが、はじめのストーリーですがちなみに私のおススメは種類の多いドライフルーツ類とくるみのたれとコーヒーかりんとうです。

中高支部 大塚利恵子

寄稿・投稿大歓迎です! ぜひお近くの広報部員まで!

広報部員

大塚利恵子(北信担当)

榛葉 良美(中信・編集担当)

手塚信一郎(HP担当)

中田 美千(編集担当)

下田 広美(南信担当)

篠原 沙知(東信担当)

前田 涼(HP担当)